

世界に批判にされる日本のマスメディア テレビを疑うと二歩

～ひとりひとりが眞実を知ること、それが自分たちの生活を良くする～

日々垂れ流されるテレビや新聞による報道をあなたは信じていますか？テレビや新聞などのマスコミは営利企業であり、その報道は必ずしもわれわれ一般国民の声ではありません。スポンサーやバックにいる政治家、団体など、既得権益層の代弁者です。そして残念ながら、戦後から現在まで日本のマスコミは反日思想、媚中、媚韓の傾向にあるといえます。今後はそういう観点でテレビや新聞を見てください。一般的に疑問符がつくような報道も筋が通ると思います。

最近の事例

田母神論文問題

「日本は素晴らしい国だった」という旨の論文に対するヒステリーとも言えるマスコミ各社の異常な拒絶反応。思想政治制とも言える言論抹殺。中国・韓国の立場からの報道。

毎■新聞 変態記事問題

ある日本の新聞社の英語サイトのコラム「Waiai」において長期にわたり日本人の名前を貶め、誤解を招くような不正確・卑猥な記事を配信。（※内容はあまりにひどいので、ここでは書けません。）

浅田真央選手と
キム・ヨナ選手の比較報道

※これらはほんの一部です。パソコンをお持ちの方は手よりもキム選手のほうがいいので、ここでは書けません。）

新闻が国民の味方だったときがありましたか？もしあつたとしたら国民の利益とマスコミのそれが一致した時だけです。今、インターネットでは政権交代後に可決されると思われる外国人参政権や、一〇〇〇万人移民の報道で、「優勝した」浅田選手が「優勝した」と感じさせる報道。

事実を知るには 新聞とテレビ だけでは不十分

ある番組がフイギュアスケート・グランプリファイナルの報道で、「優勝した」浅田選手が「優勝した」と感じさせる報道。

西松建設違法献金疑惑

去年11月、業務上横領容疑で同社幹部が逮捕されたが、その追及過程で、あ

る大物政治家への多額の違法な政治献金が表面化。東京地検も事実を掌握している模様であるが、なぜかマスコミはこの政治家に対しては沈黙。

国籍法改悪に対するマスコミの黙殺

去年末に『国籍法』が改悪されたのを知っていた方はいますか？これは日本人男性の認知があれば20歳未満の外国人が誰でも日本国籍を持つというものです。DNA鑑定も要りません。非常に危険な法律であると各国から指摘されています。現に最近この法律を悪用した偽装認知により中国人が逮捕されました。それでも氷山の一角でしょう。マスコミはなぜこのような大事な法案が可決される前に報道しなかつたのでしょうか？そしていまだに大きく取り上げられることがないのはなぜでしょうか？

椿事件とは

1993年、第40回衆議院議員総選挙に際し、当時テレビ朝日報道局長であった椿貞良が局の報道姿勢について「なんでもよいから反自民の連立政権を成立させる手段助ける」になるような報道をしようと日本人は知るすべもない。

※国会中継サイト（衆議院）
<http://www.shugiintv.go.jp/jp/>

今までテレビや新聞が国民の味方だったときがありましたか？もしあつたとしたら国民の利益とマスコミのそれが一致した時だけです。今、インターネットで政権交代後に可決されると思われる外国人参政権や、一〇〇〇万人移民の報道で、「優勝した」浅田選手が「優勝した」と感じさせる報道。

ねつ造、やらせ、偏向、隠蔽：これまでテレビや新聞が国民の味方だったときがありましたか？もしあつたとしたら国民の利益とマスコミのそれが一致した時だけです。今、インターネットで政権交代後に可決されると思われる外国人参政権や、一〇〇〇万人移民の報道で、「優勝した」浅田選手が「優勝した」と感じさせる報道。

第一の椿事件か？